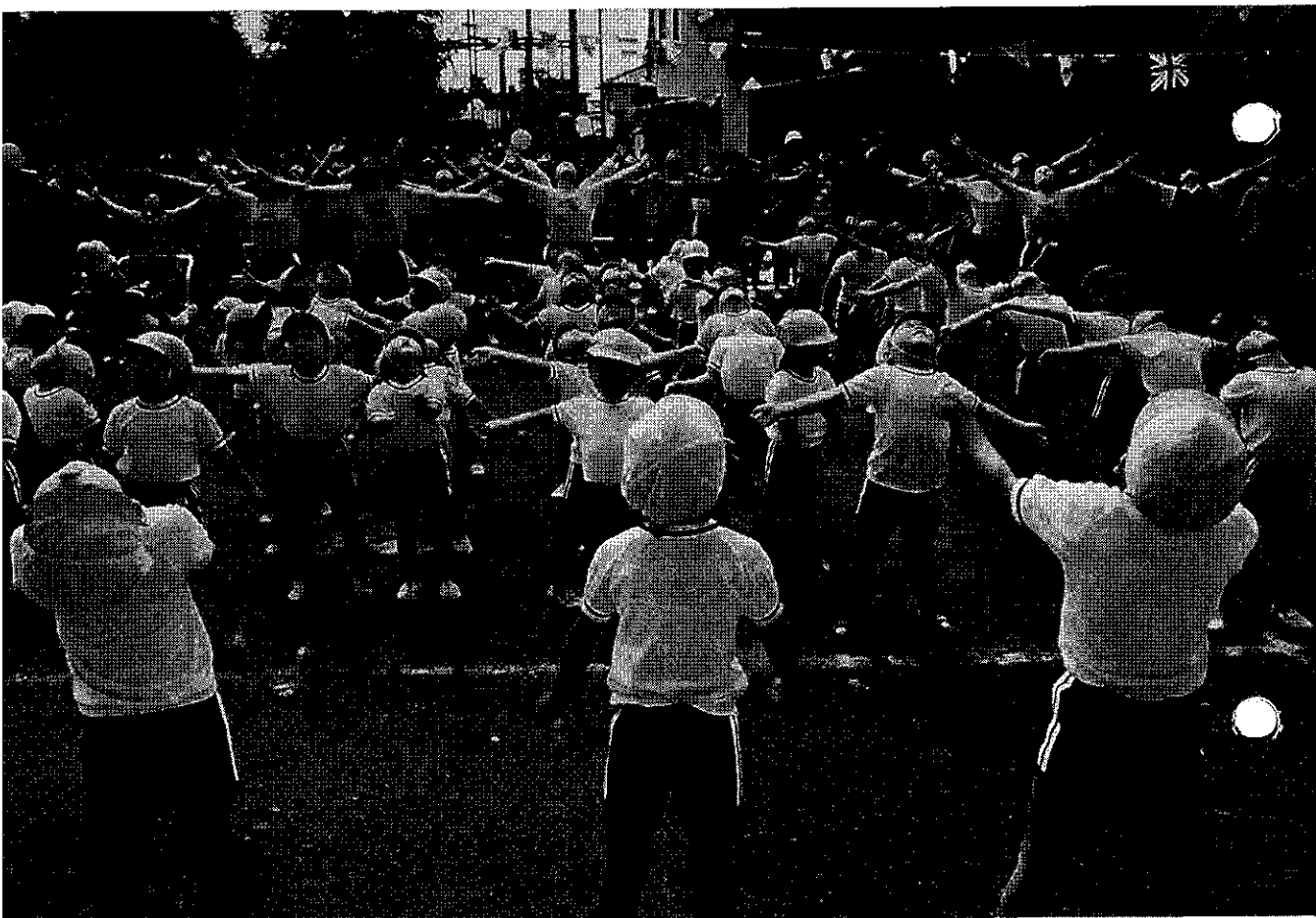


# 保育かながわ

発行所  
横浜市神奈川区沢渡  
4の2  
神奈川県保育会  
発行人  
富田英雄  
題字  
故 内山岩太郎 筆



0歳から6歳までの子ども・保護者（父母・家族）地域の老人会・自治会の人々・保育園職員が園庭に集まり、年長の子どもが中心になって、みんなで一緒ににこにこげんきいっぱい朝の体操をします。喜びと恵みの光をあふれるばかりに受けとめて、0歳から92歳までのあたたかいふれあい世代間交流のできる土曜日の運動会風景です。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんと今日一日表現豊かな演技・競技をにぎやかに楽しく行います。

# インフォーマルケアという**一時保育**とは

澁野辺保育園 松岡俊彦

一時保育室の片隅では、さっきお母さんと泣き別かれをしその余韻をひきずっている緊急保育児、時折おもいだしたように背中をふるわせています。それでもやがて他の子供の「見立て遊び」を横目で見ながら少しづつ並行的な一人遊びを始めるのです。それを側面から優しく支え心の交流をはかろうとするも、何となくためらいがちな保母の係わり、こうした保育現場の様子は導入保育の一部を除けば、普通の保育室とは少し違います。それは突然に発生するニーズに応え必要な時に必要な援助をするという制度ですから、その場限りの臨機応変保育になりやすく、仮に一時保育全体をおさえた流れを、ディリープログラムとして作っても個別の生活リズムが優先するという仕組みにあるのです。この場合気を付けておきたいことは親の都合が先にあって、それを充たすだけのコインロッカーにならないことですが、それにはどうしたらよいのでしょうか。

「お母さん何時に迎えにくるの」という緊急保育児の問いかけに、保母は無雑作に「〇〇時よ」と応えたとします、その場合本児が事実を聞いているのならいいのですが、家に帰りたいという気持ちの表明であり不安とか緊張の現れであることが多いのです。保母はその瞬間や場面の子供の感情をしっかりと受け止め、暖かく許容する言葉かけが必要になってきます。まず「お家に帰りたいのね」と感情を受け入れたうえ共感関係をつくり少しづつ行動の場へ誘導していく、これはロジャースの感情転移技法に通じています。子供の感情を保母の言葉に置き換え、それを反射のように返すことで、子供は自分の気持ちをわかってもらえたと思ひ満足し心理的距離が近づくのです。そこで一時保育の保母は、子供との「であい」のなかで心に沁み行っていくような言葉かけができるよう専門制を身につけることが求められ、しかも理由などないあいまいな情緒的關係が優先するから、親子關係に近い母性的係わりになるかもしれません。さて保育環境ですが、できれば教室的保育室でいアットホームな生活空間の専用保育室が必要です。継続的な在園児各組は領域に沿った保育計画によるフォーマルケアが行われ、保育内容での個別的配慮には限界があるからです。その上社会性、対人關係、場面適応などの成熟度の深まりが、一時保育児と大きな開きがあり、それが情緒的側面での緊張不安感増幅となるのです。因みに当園は平成2年に一時保育室の増築をしましたが、それ以前は年齢クラスに入れずマンツウマンのおんぶ形態になりやすかったため、保育の限界をいつも意識していました。ところで一時保育は緊急保育以外にも登録性による非定型的保育制があって、それはとびとびでも連続性があるのでやがて準在園児格となり、小さな3才以下縦割りグループができていきます、そこで飛び入りの緊急保育は別室でのマンツウマン世界と考えていましたが、むしろ非定型グループのソフトな活動の場に泣きながらも居場所を求める可能性があることを知るので、確かに緊急保育児を親から受け入れる際、どんなにやさしく迎えても所詮保母はアカの他人、抱えこもうとすればする程防衛し逃避する傾向がみられるうえ、仲間を求めるという志向が原点にあり、導入は向かい合う關係よりも、何かに係わろうとする心構を側面から支え共感關係をつくる援助の姿勢が望ましいことを示唆しているのです。一時保育児はやがて園庭遊びや保育行事、そして年齢クラスにも入るなど活動空間を広げていきますが、それは一時保育室という原点が根っ子にあり、保母が側面から支える補助自我の役割をとることが条件になるのでしょうか。

# ……完全週休二日制を考える……

## 週休二日制と問題点

平塚保育園 猪股 祥

ミヒヤエル・エンデ作「モモ」によると、「人間には一人一人に、その人の分として時間が配られており、その時間をどのようにするか決めることも、その時間を盗まれないように守ることも自分自信でなくてはならない。」のだそうです。この大事な自分の時間を知らぬ間に失っていくか、心に留めて生きた時間とするかは自分の責任、ということでしょうか。光陰矢の如し、あつという間に時を失っている自分です。今、日本は外圧といながらも、自分の時間を問い直す好機を与えられたように思います。現実的には罰則つきの法律を守るという視点から、法定労働時間という用語に振り廻されている感があります。特に福祉は、「より質のよい福祉を」「より少ない労働時間で、少ない人手で」と矛盾したこと求められているのです。ここ数年、分刻みの労働時間をジグソーパズルのように動かして、変形労働制なるものを模索してみましたが、現行の一定の枠の中では自と限界があると感じました。矛盾しがちな法律と福祉に心を入れるためには、柔軟な発想で、働く時間も休む時間も利用者の時間も含めて、自分の意志で選択できるような多様な形態を工夫することかと思います。これは週休二日制の問題というより、制度の見直しが問われているのだと、感じております。

## 週休二日制に向けての実践と問題点

綾瀬市吉岡保育園 中村 照子

当園は、労基法によれば小規模経営施設なのでまだ完全実施はとらなくてもよいので、平成四年度は月一回の土休制をとり、平成五年度には月二回というように漸次体制を整える準備をしている。

園児の保護者の側でも中小企業に勤務したり、パートの場合も二休制がはっきり決っていないし、教員もまだ第二土曜日のみであり、企業によっては土休制をとるためかえって出勤する土曜日の勤務時間が延長されて午後三時までの保育を要望された。

約半数の園児が土曜を休むようになったが一定した数ではないので保育の上からも縦割り保育や合同保育をする必要が生じてくるので子供たちにしわ寄せが来ないか、保育の在り方をよく考えなくてはならない。職員の側から見ると休日が増えるのでリフレッシュした気分がゆとりをもって保育にのぞめる長所はあるが次のような問題点もある。

- 一、土曜日に園行事がしにくい（親にとっては都合がよい）。
- 一、ケース会議、職員会議をする時間がとれない。
- 一、年休がとりにくい状態となる。
- 一、育児休業、育児休暇、病気休暇をとる職員がいた場合すぐ代替職員がみつからないと大変である。

訃報 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

前保育会長鈴木萬史先生が、去る一月十九日ご逝去されました。本葬は、三月三十日・三十一日の両日海蔵寺にて執り行われます。なお、保育会では故人を悼み生前の先生のご功績や思い出を偲び、保育かながわの増刊号として近日中に発行を予定しております。

# 保育会主催 研修会

## 主任 保母研修会

平成四年十一月十日～十一日 箱根  
浜見平保育所 境 田 栄 子

一人一人が生き生きと保育を楽しめる事…気付くこと、考えること、話すこと、実行することからこれに「合うこと」を付け加えることだと思いました。そのためには援助する立場を忘れずに共に歩む心を持ちつつげられたらと思いました。

また、2日目は箱根の秋の自然に触れ、優しさと思議さを感じながら日頃の生活の中にもゆとりを持つことが出来たらなと思ひ、リフレッシュしたひとときでした。

人間、ちよつとした事でも意識するといけないでは何気なくゲームに参加している時、人の名前を意外に記憶していない経験から見えるものも見えないものだと感じ、目、耳、頭そして心を十分働かせ柔らかな人間になれるよう努力したいと思ひます。

研修に参加でき大変、貴重な時間を得る事ができました。

内 容

「若い保母がいまいきと働ける職場づくり」  
聖ヶ丘教育福祉専門学校  
理事長兼校長  
平 中 侃 先生

野外活動講話  
「野に遊びを求めて」  
箱根町社会教育指導員  
佐 藤 勝 信 先生  
近傍の山野を散策し、講話を受く  
昼食後解散



## 新任公立保育園長研修会

平成四年九月七日 大和市  
鎌倉市立深沢保育園 野 田 充 博

大和市保健福祉センターに於いて標記の研修会が開催されました。一七人の新任園長はその経歴に落差があり保母から園長になった方もいれば私の様に人事異動で畑違いの所から園長になった者もいました。

研修は元湘北短期大学教授の高島輝先生の「より良い園長像を求めて」というテーマの話と、小グループに分れての意見交換と内容発表を行いました。

これについても高島先生に助言を頂だき、その後には県保育会会長をはじめ、各役員の方々に、園長としての心構えや現在の保育園を取りまく諸情勢についてのお話を伺っていました。

高島先生の園長のあり方の具体的な提示と、助言の洞察力にあふれた発言には自分の非力を思い知らされ、又新任園長同志の意見交換の中では、経歴の違いや、地域性の違いもあり「悩み」そのものは違っても新任園長同志の或る種の連帯感の様なものを感じ感さめられる思いでした。最後にになりましたが、新任園長として当惑の中にある者にとって、この研修会はとてもありがたいものでした。

会場を提供していただいた大和市と、県保育会役員の方々に感謝いたします。

## 調理員研修会

平成五年一月二十二日 県社会福祉会館

内 容

講 話  
「人間味豊かな明るい職場づくりを目指して」  
社団法人 言語科学振興協会  
理事長 江 木 基 彦 先生

講 話  
「喧まなくなつた子どもたち  
…おいしく上手に食べさせるには…」  
神奈川県歯科医師会、  
神奈川歯科部会副会長  
花 井 美 智 子 先生



### 調理員研修に参加して

茅ヶ崎市栄養士 遊 作 千 賀 子

江木先生は、マイクも使われずに、ステージ最前に出られ身振り手振りで話される姿に、一同吸込まれる思いで話しに聞き入りました。

人から好かれるためのポイントをカードを利用し、すぐにでも実行できるように、とても分かり易くお話しいただきました。

花井先生は、丈夫な歯は、丈夫な身体を作るを基本に、食べたいという意欲を大切にしながら、一生涯自分の歯で食べるというすばらしさを、数多くのスライドを使い話していただき、かむことの効用について改めて、勉強させていただきました。

## 園長研修会

平成五年二月二十三日 東京都

一台のバスに50数名の先生方と同乗し最初の見学地都庁舎へと向いました。都民の広場は外国にでも行った様です。又45階にある展望室に、アツというまに着き東京のまちを眼下に眺めて参りました。昼食後は、待望のこどもの城の視察となりました。子供達の活動を高めるいろいろな機能が一堂に集められている施設、機能的で贅沢に出来ています。AVライブラリ、パソコンルームなど人気のあるものばかり音楽スタジオ造形ルーム等自分で実際に作ったり、行動ができるし必ず指導者がいる点がすばらしく楽しみながいろいろな体験をし知識を身につけ明るく、たくましく育ててほしいという願いをこめてつくられたお城です。NHK展示プラザの見学ではなつかしい子ども番組を回想することが出来、意義ある視察研修でした。

内 容

(1) 日本児童手当協会  
「こどもの城」

(2) 東京都庁

(3) NHK放送センター



# 第36回全国保育研究大会開催

去る十一月十八日、二十日の三日間、子ども達の健やかな成長と子育て環境の充実を願って、全国各地から二千百名にのぼる保育関係者を兵庫県神戸市に集めて開催された。

「明日の保育所像を求めて」小室豊允氏の基調講演・長尾立子氏の挨拶・大会表彰式・富岡悟厚生省児童家庭局母子福祉課長より「保育の動向と今後の展望」と題して講演があり公立保育所の人件費の問題で話題をまいた。

各ブロックごとの研究分科会も熱心に行われ西川きよし氏の記念講演を、ユーモアの中で聞き大会宣言の提案を満場一致で採択、大会の幕が閉じられた。



全国大会に参加した神奈川県の先生方  
六甲山ホテルにて

## あふれる研究心を 大きくふくらませる子どもたちの夢

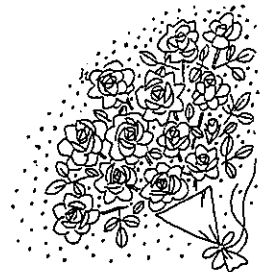
### 研 究 テ ー マ

- 平成五年度 関東ブロック分科会提出議題決定!
- 第5分科会  
求められる労働形態と保育内容の強化をめざして  
——労働時間短縮と保育所運営のあり方を考える——
- 第9分科会  
共に育つ保育をめざして  
——障害児保育の推進を考える——
- 第13分科会  
健康な身体づくりをめざして  
——子どもの食事・栄養を考える——
- 第27回 神奈川県保育事業大会 平成5年5月15日(土)
- 第34回 関東ブロック保育研究大会 会場 長野市  
平成5年7月7日(水)～7月9日(金)
- 第37回 全国保育研究大会 会場 新潟市  
平成5年10月27日(水)～10月29日(金)
- 各地区保育会会員保母会員の意欲的な研究活動を期待いたします。どうぞ、多くの先生方が、研究大会に備えて下さい。

## 全国保育協議会会長表彰

岩瀬保育園園長 富田英雄 先生  
伊勢原愛児園園長 渡辺健司 先生  
ちぐさ保育園園長 小林幸子 先生  
神奈川県から三名の先生が受賞されました。

おめでとうございます。



# 保母の日前夜祭

12月4日

保育関係者が、横浜東急ホテルに集い、来賓の方々から暖かい祝辞をいただき、

美しいピアノの曲を佐藤祥代様の演奏で潤い、にぎやかな会話の中で、喜びをわかちあいました。

## 受賞者の皆様

### 保母賞受賞者

- ◎佐藤 蘭子様 大 楠 愛児園
- ◎参鍋富美子様 深見台 保育園
- ◎霜隆 靖子様 淵野辺 保育園
- ◎徳永佐代子様 妻 田 保育園
- ◎藤木 信江様 二 子 保育園

### 叙勲受章者

- ◎泉 洋子様 中 島 保育園
- ◎藍綏婁章受章者

- ◎石野きよ子様 ふくざわ保育園
- ◎半沢日出夫様 沼 間 愛児園

### 厚生大臣表彰受賞者

- ◎鷺見 立信様 梅 雲 保育園

心よりお祝い申し上げます。



## 「前夜祭にお招きいただいて」

二子保育園 藤 本 信 江

保母賞受賞式の伝達を戴き非常に緊張した時「第十五回前夜祭」にお招きたまわり、心暖まるお祝いとお励ましをいただき本当に感激いたしました。

不安な心で聴いた、シヨパンもその後の諸先生方のお心遣いに、これからも健康に留意しながら少しでも若い保母者の皆様と共に励んでまいりたいと存じました。ありがとうございます。

## 「手引書」完成にむけて

調査研究部長 渡 辺 健 司

お陰さまで「保育実習生を受け入れるための手引書」も印刷の段階となり、新年度早々には各園に配布できるよう、準備しております。この手引書は、県所管の施設長、県内養成校及び学生の調査協力を得て作成された貴重な調査結果の報告でもありますので、保育所の体質改善や、保母採用時などには、きっと役立てていただけるものと確信しております。今、学生や養成校は、保育所をどのように見たり、考えたりしているのでしょうか。厚生省は「保育問題検討会」を設置し、現在の保育制度の改革を考えていますが、願くば、私たちの力で「保育所を変える」くらいの勢いで頑張りたいものです。新年度からは、また新たな取り組みをしなければなりません。皆様のご意見を、お聞かせ下さい。

## 激動の保育制度に予対活動を展開

予算対策部・事務局

降って湧いたかのように、公立保育所保母の人件費を全額地方負担化する、という動きに保育関係者が騒然とした十二月二日、全社協ホールで全国保育予算代表者集会がもたれた。

本会からは、富田会長、草山・稲川副会長、広田・藤田予対副部長、室井保母会長、寺島事務局長が参加。陳情や懇親会では県内選出議員に、人件費問題や複数主任制、時短等について要望し、実現させるとの約束を得て、散会となった。



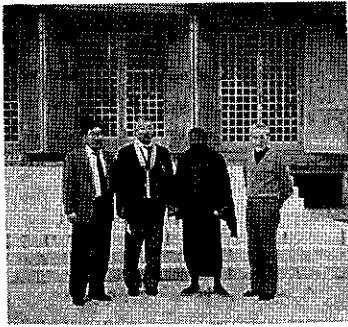
# スリランカより研修生を迎えて

総務部長 草 山 充

昨年十月、県保育会は国際社協の依頼で、ソーシャルワーカー・ジョテイさん（男性・44歳）をスリランカから迎えた。来日の目的は、本県で七つの保育所設立と学校にちえおくれの児童のクラスを設けるため、日本の保育所や福祉制度を学ぶこと。

本県では、平塚市にある複合施設「麗」・明石町保育園（前田陽子園長）で、最先端の保育施設を見学。その晩は拙宅にホームステイ。「カラオケ」も初めての経験。

翌日は、秦野市内の第一保育園



スリランカよりの研修生を迎えて

（八木暁子園長）と第一ケアセンターを訪問。三日目は、同市あけぼの園（精神薄弱児通園施設）と社協を訪れた。通訳をまじえての視察であったが、いずれの園長も達者な英語で説明。ジョテイさんも英語はもちろん「ひらがな」が全て読める程の力。しかし、日本の制度や組織は自国と比べてわかりにくいようだった。お国の子どもと比べ日本の子ども達は型にはまり創造性に欠けるのではないかと感想をもらしていた。

ちようど研修の疲れも出た頃、天候に恵まれた日曜日、県保育会富田会長の案内で、光明寺、長谷寺など名寺を訪れた。宿となったホテルでは、皆で囲んだ日本の食事を十分に楽しんでいただいた。神奈川での研修のあと、東京・京都と45日間の日程を終え、十一月十六日に帰国した。

## —全国保育協議会公立保育所問題懇談会—12月3日・4日—

公立専門委員長 稲川 絹子

全保協議員総会に続いて

公立保育所問題懇談会に二日間参加した。全国保育協議会を

構成する保育所の約六割が公立でありその位置づけは大きい。

全保協としても公立保育所の事業・組織の強化に向けて積極的に取り組んで行きたいとの水岡会長の挨拶に始まり、

三上部長から公立保育所をめぐる課題と今後のあり方について

の基調報告があり、公立保育所問題研究委員会の石川委員長より公立保育所の運営と活動の強化についての説明

報告があった。その後グループ討議に入り公立保育所の抱える課題と運営・機能強化特

別保育事業の推進方策・県段階・全保協の部活動の有り方

について特に大変革の人的費用問題に今後どう対応しなければならぬかが議論され、全体会では心新に決意を燃した。

1月18・19日静岡県で開催・富田

会長・副会長（都築・草山・稲川）

が参加。社会福祉の動向と保育

組織の強化の課題・基調報告・分散会討議・全体討議が活発に行

われた。厚生省児童家庭局母子福祉

課長富岡悟氏の保育をめぐる動向

と今後の展望と題して記念講演

があり、子対運動で騒がれ問題に

れた公立保育所人件費の地方交付

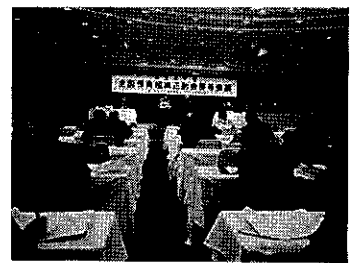
税化問題については、平成5年度

予算への導入は見送られ厚生省で

は保育所のあり方を抜本的に見直

すことを目的とした「保育問題検

討会」を設置し、幅広い関係者の



全国保育組織正副会長等会議

### 全国保育組織正副会長会議

1月18・19日静岡県で開催・富田

会長・副会長（都築・草山・稲川）

が参加。社会福祉の動向と保育

組織の強化の課題・基調報告・分

散会討議・全体討議が活発に行

われた。厚生省児童家庭局母子福祉

課長富岡悟氏の保育をめぐる動向

と今後の展望と題して記念講演

があり、子対運動で騒がれ問題に

れた公立保育所人件費の地方交付

税化問題については、平成5年度

予算への導入は見送られ厚生省で

は保育所のあり方を抜本的に見直

すことを目的とした「保育問題検

討会」を設置し、幅広い関係者の

もとで検討される事が報告された。